



NPO法人
青森県防災士会
八戸支部

支部だより

No.1：平成26年7月1日発行

支部長あいさつ

支部長 立花 悟



防災士会会員の皆さん、また、支部の皆さんにつきましては、日頃から防災士活動に御協力と御理解をいただき、ありがとうございます。参加できないけれど、何かしら応援していただいている方にも、いつか一緒にできる時が来たらいいなと思っています。そんな支部員がいる八戸支部の活動は「引く手あまた、もてもて」なのであります。その活動をみんなに見てほしくて、いつか一緒に活動したくてこの度支部報を発行することにいたしました。

活動報告や、これからの活動予定など掲載しますので、見学だけでもいいので気軽に参加してみてください。これからも防災士活動に御協力をお願いいたします。

支部報第1号発行お祝いメッセージ

「支部報」第1号発行おめでとうございます。

今年度、私は活動には参加していませんが、1月26日に三沢市の名物食堂において、会議を開催する計画を立て、実施しました。

八戸支部といっても広範囲になりますので、各地域での雰囲気があり、その特徴を知る上でも有意義だったと思います。また、会議はほっき丼を食べながら、和やかな雰囲気でした。これからも、楽しみながら活動に参加していきたいと思っています。第1号発行に際しての松本防災士のご努力に敬意を表するとともに、息の長い支部報になることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。(池添)



平成26年度第一四半期活動報告



十和田市自主防災会スキルアップ講習会

平成26年5月13日(火) 十和田市役所新館5階会議室

参加防災士：立花、小林、松本、松森

防災組織力向上を目的に、十和田市役所総務課防災係主催で今年度から年2回のペースで研修会の開催が決定し、その記念すべき第1回目は、地域の自主防災組織のリーダー43名を招き、1時間30分にわたり行われました。



助ける命、助かる命、大切な財産を守るのは自分しかないと考え、それには自分のためにも生き抜く気力や能力、そして正しい知識と技術を身につけ、今後も地域住民の皆さんと共に勉強会を重ねて、官民一体で自主防災組織を増やし、防災力向上のため防災訓練を重ね地域の防災力向上に努めたいと考えております。最後に、講話にお越しいただいた自主防災組織の皆さん、協力をしていただいた立花防災士・松本防災士・松森防災士、ならびに十和田市総務部長さんをはじめ担当職員の皆さん、ご協力ありがとうございました。次回も宜しくお願いします。災害はいつでも来ます。「人を助けるのは人です」をモットーに活動を続けましょう。(報告：小林)



小林防災士が参画した避難所開設マニュアルの内容の一部が十和田市役所ホームページで公開され閲覧できます。

ぼうさいカフェ in とわだ

平成26年5月17日(土) 十和田市東公民館

参加防災士：小笠原事務局長、新松むつ分室長、立花、小林、
菅原、蛭名、種市(雅)、澤目、松本、松森



防災用品・非常用備蓄品の
展示コーナー。



菅原&澤目ペアによる日
用品を使った応急手当。



AEDを使用した心肺蘇
生の模範演技。

十和田市総合防災訓練

平成26年5月29日(木) 十和田市立四和小中学校体育館他

参加防災士：立花、小林、山本、長沢、松本



立花支部長は訓練本部
参与(統監への説明)、
小林防災士は訓練全体
の総合監修、山本・長
沢・松本防災士は、防
災用品の展示を担当し
ました。(報告：山本)





～十和田市総合防災訓練～

ダッシュ119が選んだ ちょっと笑える7大ニュース

1

小林防災士、立派な立ち振る舞い

文句なしの第1位。言うことなし。

2

長沢防災士、炊出しに間に合ったのか

中央公園で行われた炊出し訓練。四和小中学校からは少し距離がある。炊出し目指し、軽トラが走り出したのだった。

3

松本防災士、午後の仕事に間に合ったのか

有休を取って訓練に参加。職場の理解を得ているからこそ参加できたのであろう。家族の理解はいかほどか・・・。

4

山本防災士、アブに刺される

災害物品の展示をさぼり消防隊の訓練を覗きに。首をアブに刺される。普段の危機管理の甘さがここで出た。

5

立花支部長の防災セットが多すぎる

展示品のほとんどが支部長の私物。大災害が起きた時、1人だけ生き残ろうと考えているに違いない。

6

小学校のチャイム

今や、キンコンカンではない。軽快で楽しい音楽が鳴る。市長巡視中も鳴り止まない。

7

場所が遠い

新築の校舎。ナビでも出てこない。



八戸市立多賀小学校防災教室

平成26年6月2日(月) 八戸市立多賀小学校体育館

参加防災士：立花、館合

「災害から自分の身を守るためにはどうすればよいか～東日本大震災の教訓～」というテーマで前半を低学年の児童40名、後半を高学年の児童59名にわけて、被害写真を用いて被災地での避難の実例の紹介や、津波タペストリーを見学してもらい、命の大切さと大きな地震の後は津波が来るので、とにかく早く逃げるはじめることの重要性を肌で感じてもらいました。



同校学区内では、人的被害はなかったものの、住家被害があった児童がいることがわかり、児童の心のケアに留意しながら説明をしましたが、低学年の児童は「災害」という言葉がわからず、「地震」「津波」「台風」という言葉は分かっていたので、低学年の児童をいたずらに脅すことなく、災害の怖さと、自分の身を守ることができることを伝えるために、より一層の工夫が必要であると感じました。(報告：館合)



六戸町南町第二町内会防災教育

平成26年6月8日(日) 六戸町南町第二公民館

参加防災士：立花、小林、道川、
澤目、松本、松森



☆講習内容☆

1. 防災講話「大規模災害に備えて」(小林)
2. 簡易担架の作り方(道川、松本、松森)
3. 新聞紙スリッパの作り方(立花、澤目)
4. ロープを使用した運搬法(澤目、立花)
5. 応急手当法(立花、道川)
6. 毛布を活用した運搬法(立花、小林、道川、松本、松森)

反省点として、防災講話のパワーポイントのスクリーンにホワイトボードを使用したのが、画像の大きさに制限を受けるため、大きな白布を購入して、それでスクリーンの代用することが望ましいことと、ロープを使用した運搬法は、実際にやってみると大人1人を背負うことは、背負うほうがかなりの体力を持った人でなければ厳しく、今回のように高齢者が多い講習には不向きでした。



聴講者も熱心に聴講していただき、協力的でかつ和やかな雰囲気を実施できたことが一番良かったです。

今回の聴講者は約30名で、その年齢層は高齢者が多かったものの、新聞紙でのスリッパ製作や担架の講習では、参加者の楽しそうにしている姿が印象に残りました。これが防災士活動を実施していく上で、一番楽しいひと時なのではと思いました。(報告：澤目)

NHK第一&FMラジオ 毎週金曜日
12:55~13:00 は
「青森防災一口メモ」
防災士出演中!!

<今後の行事予定>



八戸支部7月支部会議

- ・7月11日(金) 18時~
- ・八戸市総合福祉会館3階
「わいぐ」情報交流スペース



青森県総合防災訓練

- ・8月31日(日)
- ・八戸市八太郎地区

おいらせ町総合防災訓練

- ・10月19日(日)



皆さんの住んでいる地域、職場、学校
などで防災減災に関してサポートが必



要な際はぜひ、防災士会にご相談を!!

八戸支部長アドレス：tatibana@aomoribousaishi.jp

親子で学ぶ防災キャンプ

- ・11月9日(日)
- ・種差少年自然の家

